

# アンケート結果から

梅園学童クラブ

## 調査方法

福祉系 高齢者から乳児院まで幅広く調査を実施している「株式会社 ウェルビー」さんへ調査を依頼しました。

学童クラブに通う児童の保護者の皆様にアンケートを配布、記入後に、封をした回答を直接評価機関へ返信いただきました。児童に対しては、学童クラブ内で職員が説明し、個々に記入し、児童が封筒にアンケートを入れて封をし、ピッコロ本部がまとめて調査会社へ郵送する方法で実施しました。

## 【アンケート総評】

### 梅園学童クラブ保護者アンケートの対策

学童クラブでは一人ひとりのお子さんが楽しく過ごせるように、興味や関心に合わせた活動・遊びを取り入れていると思うか、学童クラブでの日常の遊びや活動、行事が工夫されていると思いますか

**【課題】** 日々の様子についてどんなことをしているのか分かりづらいとのこと

**【対策】** 学童クラブでは登所時間・降所時間がさまざまで曜日ごとに、また当日に変更になることもあります。保育園と同じ生活の場でありながら、学校のある日は、学童にいる時間が短く、ゆっくり過ごすことが出来ないお子さんもおりますが、少しでも遊びの時間を確保できるようおやつを取り方などにもその日その日の育成に努力しているところです。今後は、学童クラブの様子を、毎月のおたよりを通してお伝え出来るような工夫をしていきたいと思っております。

**【課題】** 駄菓子ではない、お腹にたまるようなおやつになってよかったという声がある一方、前までのお菓子のほうが子どもは楽しかったようだという声があがっています。

**【対策】** 育成時間が19時になったこともあり、腹持ちのいいもの、出来るだけ添加物の少ない物と考えておやつの提供をしております。

**【課題】** 学童クラブの職員の対応(言葉遣いや態度を含む)について

**【対策】** 回答された93.8%の方が職員の対応について適切であると感じたことは、日々の職員の対応が出来ていたことと大変嬉しく思います。一方、「けん玉無理にやらせないで」、「おやつ無理に食べさせないで」、「マスクびしょびしょになりかけ替えの声掛け」については、すぐにも改善していけることとして支援員で共有しております。

また、令和3年度1月には子どもの人権を大切にする研修会を企画し、ほとんどの支援員に参加いただきました。令和4年度につきましても研修会を実施し人材育成に努めてまいります。

**【課題】 心配ごとや相談について**

**【対策】**保護者の方の心配ごとやご相談につきましては、主任をはじめ支援員に直接お伝えするか、連絡帳などもご利用ください。お時間が必要な場合は、お電話でもお伺いできますし、相談日を設定することもできます。

また、直接、支援員に話しづらい場合は、指定管理のピッコロや「学童のしおり」P.13の苦情受付担当にメールで相談することもできます。

学童クラブでは11月ごろ、個人面談も実施しておりますので、これもご利用ください。

**【課題】 おやつの内容や量について**

**【対策】**保育園のような手作りおやつは理想です。学童の中でどれだけ出来るのか支援員と一緒に考えておやつについても考えていきたいと思えます。

おやつについては、おかわりがあるときもありますが、食べ過ぎると夕食に影響しますので、考慮しています。

**【課題】**「他の子どもに自分の子どもの情報を聞いたりしているのが、不快だった。」とのご意見をいただきました。

**【対策】**他のお子さんに情報を聞くということは、してはいけないことと思えます。お子さんにとっても、聞かれたお子さんにとっても不快だったと思えます。大変申し訳ありませんでした。

個人情報保持については、学童クラブに入る職員はもちろんパート・アルバイトについても面談で伝え、誓約書を交わしております。

改めて、アンケートのご意見を全職員で共有して改善を図るよう努めてまいります。

**【課題】 「事務的な連絡のみなので様子まで分からない」というご意見について**

**【対策】**限られた時間での連絡帳への記入で、お伝えしきれない部分があったかと思えます。お迎えの保護者の方へは口頭でお伝えできることもあります。申し訳なかったと思えます。今後、学童だよりを活用して日々の様子もプラスしてお知らせするようになりたいと思えます。

また、お迎えにいらしていただいたときは、より話しやすい雰囲気をお心がけていきます。

**【課題】 コロナ禍での感染対策はどうしているのか。**

**【対策】**コロナ禍になってからは検温とアルコール消毒はかせません。おやつの前にはしっかり手洗いをしてもらい、1テーブルに4人掛け、仕切りを置いて黙食でおやつを食べます。その日に誰がどこの席で食べていたのかも記録しております。

**【課題】 食物アレルギー対策はどうしているか**

**【対策】**食物アレルギーの除去が必要なお子さんの保護者の方へは必要な書類の提出をお願いし、おやつメニューと成分表をお渡しして、お子さんが食べていいか保護者の方と一緒に確認します。

当日のおやつの提供にあたっては、賞味期限や保存方法、食物アレルギーのお子さんへのおやつの内容確認等、必ず複数の支援員が書面で確認することでミスをゼロにしております。

また、支援員はエピペンの使用についての研修にも参加しています。

**【課題】 仕出し弁当の利用について**

**【対策】**「利用する保護者の有志で取りまとめてください」という投げかけだけで、保護者の方を繋ぐ役割までしていなかったことについて反省しております。令和4年度には保護者の皆さんにお手紙を作成し、改めてお伝えしたいと思います。

**【課題】 暗い道の心配ごと**

**【対策】**12月～2月、シルバー人材センターさんの協力をいただいて今年度も実施していただいております。清瀬市としても継続していけるよう努力していただいております。指定管理としても第1回運営委員会でも出されておりますが、暗い道に街灯の設置をしていただけるよう市に働きかけていきたいと思っております。

**【課題】 遊びについて(子どもアンケート)**

**【対策】**同じものしかないから飽きた、無理やり校庭へ連れていくについては、新しい遊びの提供や遊びが広がっていくような声掛けについても必要であると考えています。けん玉やコマが好きな遊びに入っているが楽しくないことにも上がっているため、子どもの気持ちに配慮した育成をしていきます。ゲームやテレビなどについては、お子さんと一緒に考えていきます。

**【課題】 おやつについて(子どもアンケート)**

**【対策】**アイスを100万個食べたいという子どもらしい意見がある一方、「自分で選びたい」「どうやって決めているの?」という意見もあります。子どもの意見も大切にしていきます。

**【課題】 学童の支援員について(子どもアンケート)**

**【対策】**優しい先生がいて嬉しいという一方、先生が怒らない学童、ちょこちょこ先生が変わるのはやめてほしいという意見もありました。夏休みにいろいろな学生さんに入っていたことや常勤職員が1名安定して勤務できなかったことが、お子さんや職員のみなさんにも申し訳なく思います。令和4年度に向けて職員の配置は定員数配置で決定しております。